

■日時 平成26年8月19日(火) ■天候 晴れ

千葉県立市川工業高校 対 今治精華高校・通

■球場 明治神宮野球場 第1試合 1回戦

■試合時間 1時間59分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:家田 塁審:小松 遠藤 渡辺(登)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
市川工	千葉	4	2	0	0	1	2	3			12	8	1
今治精華・通	四国・愛媛	2	0	0	0	0	0	0			2	4	2

市川工

ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
遊	中平嘉貴	2	2	0	1	死球	三振		投ゴ		四球	左犠		
二投	近藤真澄	2	1	1	1	四球		遊失	左安		右犠	死球		
投二	馬場有希	4	1	0	0	投ゴ		遊ゴ	一併		一ゴ	四球		
捕	村松正悟	4	3	3	2	四球		投飛		左安	中本	二安		
一	菅原優人	4	2	1	3	四球		左3		二ゴ	三振	右飛		
中	相模武	3	1	2	1	死球		右飛		中安		三安		
七三	三橋拓未	2	1	1	1	死球			右安	二ゴ		四球		
右	鈴木優矢	3	1	0	0	三振		三振		四球		一野		
八	沖野涼太	0	0	0	0									
左	佐藤寿大	2	0	0	1	四球			捕邪	左飛				
九打	新國雅梓	1	0	0	0							三振		
九	中野龍也	0	0	0	0									
合計		27	12	8	10	残塁:8		併殺:2						

備考

■バッテリー

投手
馬場有希
近藤真澄

捕手
村松正悟

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
馬場有希	2	11	2	1	2	2
近藤真澄	5	17	2	1	0	0

今治精華・通

ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
捕	黒田大斗	2	1	0	0	四球	四球		三ゴ			捕邪		
二投	原田龍斗	3	1	1	1	左3	三振			投ゴ				
遊	上田朋成	2	0	1	1	左犠		左2		三ゴ				
中右	仙頭大資	3	0	0	0	遊ゴ		二飛		二飛				
投中	東野大輝	3	0	0	0	投ゴ		捕邪			投ゴ			
三	野本晃稀	3	0	1	0		右2	捕邪			遊ゴ			
七左	上甲峻規	3	0	0	0		二飛		遊ゴ		一ゴ			
八右	洲之内亮裕	2	0	0	0		遊飛		遊ゴ					
二	坂本圭登	1	0	0	0							三振		
一	谷川輝	3	0	1	0		三失		右安			二ゴ		
合計		25	2	4	2	残塁:5		併殺:0						

備考

■バッテリー

投手
東野大輝
原田龍斗

捕手
黒田大斗

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
東野大輝	5	27	5	2	8	5
原田龍斗	2	14	3	2	4	4

■戦評

堀内恒夫参議院議員による始球式で始まった神宮球場での今大会の開幕試合は2年連続3回目出場前回大会第三位の千葉県代表・県立市川工業高校と3年連続7回目出場の四国地区代表・愛媛県今治精華高校通信制の対戦となった。初回神宮球場で行われる開幕試合の緊張感からか制球の定まらない今治精華先発東野から市川工業は四つの押出を含む7四死球を選び無安打ながら幸先よく4点を先制する。その裏今治精華は2番原田の適時三塁打3番上田の犠飛で2点を返す。市川工業は2回表二死一塁から5番菅原が適時三塁打を放つなど2点を奪い6-2と引き離しに掛かる。5回に1点を追加した市川工業は6回には4番村松のランニング本塁打などで2点を加えると7回には3点を追加し試合を決めた。3回から先発馬場を救援した2番手近藤が3回以降今治精華打線を無得点に抑え市川工業が7回コールド12-2で勝利した。一方今治精華は2回裏に二死ながら満塁と好機を作っただけにここでの無得点が痛かった。